



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 渡部 裕幸

『戦争関連法案』は廃案だ

北海道平和運動フォーラムは7月1〜3日、東京都で『戦争法案の廃止を求める中央行動』を行い、「座り込み行動」、「院内集会」、「国会前集会」に道本部から25人の仲間が参加した。

前段の結団式には、組
織内・えさきたかし参議
が「昨年引き続き憲法
9条がノーベル賞候補と
なった。世界は9条を認
めている。9条を変えよ
うとしているのは国内だ
け。『どの子にも戦いを
嫌

う母がいる」という東京
新聞掲載の『平和の俳
句』がある。女性も政治
に参画するようになった
今、戦争は必ず止められ
る。それが社会の流れ
だ」と激励のあいさつが
あった。そのほか、横路

か実施された、「座り込
み」行動には、徳永参議
がかつつけ「島松駐屯地
に参画するようになった
と支援で自衛隊は支えら
れているということをも自
衛官から聞いた。国民の
理解のない安保法案を通

すわけにはいかない」と
激励のあいさつがあった。
『北海道院内集会』
では「安保法制を読み解
く〜安倍政権の狙い」と
題して、半田滋・東京新
聞編集委員が講演した。

毎週木曜日に行われて
いる「戦争させない・9
条壊すな」総がかり実行
委員会主催の「戦争法
案反対国会前集会」にも
参加し、集まった180
0人の仲間と「改悪改憲
反対」9条壊すな」とシ

衆議、荒井衆議、逢坂衆
議、小川参議、あいはら
参議、徳永参議があいさ
つした。

あいにくの雨模様なの
か実施された、「座り込
み」行動には、徳永参議
がかつつけ「島松駐屯地
に参画するようになった
と支援で自衛隊は支えら
れているということをも自
衛官から聞いた。国民の
理解のない安保法案を通

武力行使をすれば必ず武
力で行返しがある。戦争
関連法案は必ず廃案に
しなければならぬ」と
訴えた。

最終日には、安保関連
特別委員会を傍聴し、そ
の後行われた、解団式に
は、組織内・逢坂衆議が
かつて「安倍首相の委
員会答弁に対し、それら
しい言葉を使っているだ
けで、何も中身がない」
と批判した。さらに、斉
藤道本部青年部長が、特
別委員会のように触れ
ながら、国民が安倍首相
の発言の意味を知ること
の重要性を述べ、「地域か
ら活動をより立ててい
く」と決意表明した。

安倍政権は、法案採決の前提と
なる中央公聴会を12日に開催し、
その後、15日に特別委で安保関連
法案を採決、16日の衆議院本会議
で可決させる日程を軸に調整して
いる。自民党の高村副総裁は、集
団的自衛権行使を可能にする安全

保障関連法案について、国民の理
解が十分得られなくても採決に踏
み切る考えを示唆した。世論調査
では安保法案への反対は58%に増
えている。国民の声を無視した法
案成立は許さない。安保法制」阻
止にむけ、声を上げ続けよう。

朝風



「戦争法案反対国会前集会」は1800人が参加し、戦争法案廃止を訴えた=7月2日



えさきたかし参議



半田滋さんの話を真剣に聞く参加者



学生の質問に答える。(左から) 藤盛副委員長・山上委員長・難波副委員長

労働者に組合は必要

自治労道本部は、地方
公務員をめざす学生が多
いなか、その志が明確で
職場の現状や課題、労働

組合の必要性を知る機会
はないことや、財政難な
どの制約にある、自治体
職場の現状や課題、労働

川村准教授と連携し「社
会科学特別講義『地方
自治体の仕事と労働組
合』の特別講義を行っ
ている。

山上委員長が講義

6月26日、第12回目の
講義として、山上委員長
が、「労働組合について」
の講義を行い、藤盛・難
波両副委員長を交えた、
学生とのディスカッショ
ンを行った。
山上委員長は、「イギリ

ス産業革命から労働組合
の歴史が始まる。日本で
は明治維新後の近代的工
業の発展時から、長時間
労働などの過酷労働の変
革を求めてきた」と労働
組合の歴史に触れ、戦後
日本の労働組合への弾圧
や公務労働への労働基本
権剥奪の経緯、労働組
合・自治労の任務・役割
について述べ、「労働者に
とっては、いつの時代も
労働組合は必要なもの
と訴えた。
ディスカッションで
は、「自治体職場のどんな
現状から自治労は必要
か」「なぜ、選挙を労働組
合がやるのか」といった
質問が寄せられ、委員長
と両副委員長が、自らの
経験も交え回答した。
学生は、「イメージして
いた公務員と現実の違い
が少し理解できた」との
職場も厳しいが、そのな
かでも労働組合の役割が
あると感じた。労働組合
のイメージが変わった」
との感想も寄せられた。
講義は15日の予定で、
7月10日に道本部執行委
員会が参加し、全体総
括と意見交換を行う。
この間の講義は、単
組・組合員専用ページに
掲載しています。ぜひご
覧ください。



廃案にむけ「座り込み」する参加者



大出・道本部書記長が要求事項を説明した=7月1日

連合北海道
公務労協は、
7月1日、人
事院北海道事
務局長交渉を
行った。
高倉議長
(全開発委員
長)が「民間
春闘は賃上げ
傾向にある。
勧告に反映さ
れるよう要請する」と要
求書を手交した。
大出・道本部書記長
(公務労協事務局長)が
月例給・一時金を引き上
げること、扶養手当につ
いては民間実態を踏まえ
た検討とすること、雇用
と年金の接続については
定年延長にむけた対応を
とること、非常勤職員等
の処遇改善など要求事項
を説明し本院へ意見反映
することを求めた。
人事院北海道事務局長
は「職場の実情を聞くこ
とは重要であり、本院に
伝えていく」との姿勢を
示し、各項目課題に関し
給与については「情勢適
応の原則に基づき、職員
団体の意見も伺いながら
検討する」とし、そのほ
かの要求事項は、民間に
おける制度の運用状況や
民間調査に基づき対応す
ると回答した。

月例給・一時金の引き上げを求める

JICHIRO スケジュール

7月

16日(木) 道本部人事評価制度の実施に関する全道
交流集会 (札幌市)
北海道公務労協2015年勤期全道総決起集
会・学習会 (札幌市)

18日(土) やめるべ、大間原発! 7. 18さようなら
原発北海道集会 (函館市)

23日(木) 「戦争法案」阻止市民フォーラム (札幌市)

24日(金) 第36回全国保育集会 (~26日、山口市)

25日(土) 第4回道本部町村連幹事会 (浦河町)

27日(月) 第22回執行委員会 (札幌市)

道本部ホームページ

自治労北海道 [検索](#) ユーザー名: minnade
組合員専用ページは [パスワード: danketsu2013](#)

**戦争をさせない
北海道委員会**

「戦争をさせない」全国署名実施中!

◇目標 組合員×5筆

(7月8日時点集約状況)

73,017 筆

北海道消防協会
職員協議会
2015研修

『いいね』と言葉で伝えよう

『コーチング』で良い職場づくり

北海道消防職員協議会 研修会を開き、41単協・94人が参加した。札幌市・自治労会館で「2015年度北海道消防職員協議会」も4人が参加した。



参加型の研修で、良い組織・職場環境づくりの手法を学んだ

研修会は、「できるリーダーとは?」「円滑な組織運営とは?」と題して、ホスピタリティ・マネジメント(株)・菅野潔代表取締役社長、寺田敏明取締役が「※コーチング」を取り入れ講演した。

菅野社長は「誰かが職場環境を良くしてくれては、相手に対して否定ではなく、相手を認め、対話によって相手の潜在能力を引き出し、自発的に行動させることができる人だ」と強調したうえで

参加者の感想

室蘭消防協



七崎伸哲さん

楽しい内容の講演だった。職場での人間関係を構築する手法を学んだ。人材育成に悩んでいた中で、自分を見つめ直す良い機会になった。



佐藤裕治さん

フェイスブックに『いいね』するより、『いいね』と言葉で伝えることが大事だと思った。学んだことを職場で実践したい。

参院選勝利の決意固める



学習会には全道から89人の仲間が参加した

自治体退職者会中央本部は5月26～28日、札幌市・ホテルライフォートで「2015年度北海道地域学習会」を開き、28単協89人が参加した。1日目は、中央本部・吉沢会長と川端事務局長が「当面する情勢と自治退の課題」「社会保障の動向と自治体の取り組み」について提起した。2日目は、「北海道博物館と新しい総合展示につ

【※コーチングとは】

人材開発の技法の1つ。対話によって相手の自己実現や目標達成をはかる技術。相手の話をよく聴き(傾聴)、感じたことを伝えて承認し、質問することで、自発的な行動をするためのコミュニケーション技法。

ささきさんの国会だより④



安倍政権の軌跡を見ると、憲法改悪へひた走る姿が、浮き彫りとなる。6月22日、国会会期95日間延長強行。憲法学者や歴代内閣法制局長官は「違憲」、世論は慎重審議を求めている。政府答弁も破たんし始めている。国会前の集会は、老若男女が大勢集い、「戦争法制反対!」の声があがっている。これからの正念場。絶対多数の与党に対抗するために、国民世論を駆け戻すために、(7月7日、東京にて)

職場の『オカシイ』に気づけた



職場だより

【胆振地方本部発】6月27日、ホテルサンルート室蘭で「2015胆振地方本部青年部ヤングスクール・シニアスクール」を開き、5単組26人が参加した。齋藤・道本部青年部副部長が「組合って? 青年部って?」と題し講演した。齋藤副部長は「私たちが



「第31回道本部青年部夏期交流集会」に持ち込み、本集會に参加した仲間(陽平)

分散会で出された「仲間の声」を全体会で発表、共有した

シリーズ「社会保障制度改革の行方」⑨

処遇改善加算の届出・請求が必要

今年の4月に介護報酬が改定され、各介護事業では、4月分の報酬について既に請求し、そろそろ報酬が支払われている時期ではないでしょうか。福祉・介護集會での厚労省の講演では、「報酬は減額されたが、各種加算を申請することで、収入は増額になる仕組みである」と説明がありました。しかし、すべての事業所できちんと加算請求をしているのでしょうか。みなさんは、4月からの賃金は改善されていますか。自分の事業所では、

報酬請求でどのような加算請求をしているか知っていますか。賃金改善が行われていないと、処遇改善加算の意義が問われ、次期改定時に加算が廃止されることも危惧されます。事業主に対し、処遇改善加算の届出・請求が必要不可欠であることを求めましょう。自治労は、今回の報酬改定に伴う影響調査を自治労加盟、未加盟を問わず、無作為で抽出して調査を実施することとしていますので、関係単組のご協力をお願いします。

忙中余話

道本部として初の取り組みとなる、北海学園大学の特別講義を担当した。忙しいなか、快く講師を引き受けていただき、ご尽力いただいた皆さんに、この場をかりて感謝申し上げます。私も特別講義に10回ほど参加させていただき、コメントを求められる場面もあり、何かを伝えられたらと話をしていた。最後は、私も学生の前に立つ予定だ。大学からは、毎年20

2015 7.10 → 7.31 サマーキャンペーン みんなの真念応援します!! 今なら3つのプレゼント! クオカード 2,000円分をプレゼント! クオカード 1,000円分をプレゼント! クオカード 500円分をプレゼント!